

令和 2 年度学校評価結果報告書

桶川市立加納小学校  
校長 田中 幸子

1 めざす学校像  
「地域に誇れる加納小学校」

2 評価項目

領域	No.	評価項目	自己評価		学校運営協議会委員評価
			評価	説明及び学校の考え	
組織・運営	1	学校は、学校教育目標の達成に向けて、組織的に取り組んでいる。	B	今年度は、これまでの様々な教育活動を見直すきっかけとなった。教科部会での検討を経て、運営委員会で協議した方針が元となり、職員会議で確認し、教職員の共通理解を図り、組織的に教育活動を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○対峙したことのないコロナとの戦いで、校長先生を中心によく教職員が力を結集して児童・保護者に適切に対応していたと思います。</li> <li>○休校中もいち早く課題を出したり、教育課程の見直しなど、迅速に対応していたと感じました。</li> <li>○校長から一般教員まで活動に一貫性が窺える。</li> </ul>
	2	学校は、職員の共通理解、共通行動をもとに、学級経営を進め、その後の振り返りを行い、検証・改善に取り組んでいる。	B	臨時休業があり年間指導計画・学級経営案の変更を余儀なくされる状況であったが、その中で確実に教育活動を実践した。職員会議・学年会議等においても現状の課題を検証し改善を行った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○限られた授業日数の中で、先生方も子どもたちもよく努力していたと推察する。学習面では、PDSCを今後とも学年の枠を越えて継続的に行い、学力の定着に努めてほしい。</li> <li>○授業時間が足りない中でも、宿題などを通して、スムーズに進んでいたと思います。</li> </ul>
	3	学校は、事故やトラブルに対して組織的に迅速に対応できる体制を整えている。	B	児童理解委員会等を活用し、組織的に課題解決、児童理解に努めた。必要に応じて、管理職、保護者、担任等を交えて話し合いをもち、迅速な対応に努めた。 また、感染症対応のための、共通理解も図った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感染症対策もよくできていたと思います。手洗い場に時計を置いて、しっかりと時間をかけて手洗いさせていた。</li> <li>○不測の事態に関係者が一致協力して対応する態勢になっている。</li> </ul>
確かな学力	4	学校は学力の向上を目指し、児童の実態に基づいて、学び合いや少人数等の学習形態を工夫するといった授業改善に努めている。	B	埼玉県学力・学習状況調査の検証結果に基づき児童の実態を明らかにし、基礎・基本の定着を重点とした。県から出されているコバトン問題集にも取り組んだ。コロナ禍において学び合いの充実が課題である。	
	5	学校は学習規範（落ち着いた態度、礼、返事、話をしっかり聞く、手悪さをしない、忘れ物をしない。…など）を定めて授業を進めるなど、共通理解のもと指導にあたっている。	B	「加納小みんなのやくそく」をもとに学習規律等、全教職員で共通理解を深め、共通指導をした。 また、新しい生活様式の実践のための、教職員の共通理解を図り、実践した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コロナ禍での生活様式の定着にはご苦労が多かったことと推察します。</li> <li>○通学時に『おはようございます。』と元気に声を出していた。</li> </ul>

	6	学校は、家庭学習の習慣を付けるよう取り組んでいる。	B	年度当初に「家庭学習の手引き」を配付したが、臨時休業等の影響もあり、例年に比べ懇談会で保護者に説明する機会が確保できなかった。	
生徒指導・教育相談・特別支援教育	7	学校は、豊かな心の育成に努めるとともに、いじめや問題行動を見逃さずに解決に向けて取り組んでいる。 (生活アンケート、個別指導等)	A	日々の指導や、定期的なアンケートの結果等から児童の変容を見逃さないように努め、必要に応じて組織的に個別指導を行った。その他、道徳の授業の充実、教科指導や全校朝会・学年集会等の全教育活動で人権尊重の感覚を育成する機会を設けた。	○様々な事務処理に対応しながら施設の衛生管理等新しいことが増え、大変だったと思います。 ○授業風景や学校生活において、児童におおらかさが感じられる。
	8	学校は、規範意識に対して、全職員の共通理解・連絡調整・確認が図られ、組織的な指導が行われている。 (児童理解委員会等)	A	毎月全校共通の生活目標を提示し、各学年・各学級ともその目標達成に向けて取り組んでいる。月ごとの振り返りも実施し、集計をとって対応策を検討し、実践した。 コロナ禍の今年度は、子供の小さな変化を見逃さないように全教職員が意識した。	○共通理解と組織的な指導により、安定した学校生活が送れている。
健康・体力	9	学校は、児童の体力向上に向け、元気タイムの計画、授業の年間指導計画を立て、実施している。	B	学校課題研究として体育科の研究に取り組んだ。 計画変更を余儀なくされるものもあったが、対策を講じて、可能な範囲で実践することができた。	○子供たちが密にならないように、休み時間の校庭使用ルール(学年によって時間を分ける)など、指導がしっかりできていた。
	10	学校は、学級での給食指導が適切に行われ、食に関する意識を高めようとしている。	B	栄養技師・養護教諭を中心として食物アレルギーへの対応をきめ細かく行った。新生活様式の実践に伴い、児童は無言で食べるようになり、より味わって食べるようになった。	○飛沫感染が心配されるなか、栄養技師・養護教諭を中心に教職員が丸となって対応されたことと思います。 ○きめ細かな対応で、アレルギー問題や児童の食事態度が改善されている。
学習環境	11	学校は、温かさや潤いのある学ぶ環境作り(明るくあいさつを交わす、歌声が響く、清掃が行き届き、掲示物等が整えられているなど)を組織的に進めている。	B	コロナ禍におけるマスク着用の影響もあり、挨拶の声が届きにくくなっている。職員室前や中央階段踊り場付近に代表児童作品の掲示や、季節感のある掲示を行った。	○声で話をしないようにとの指示が国からも出るくらいですからやむ負えませんがね。 ○コロナ禍であるからこそその清潔な環境や掲示物の工夫がなされている。

	12	学校は、教材備品を充実整備し、学習環境の充実を図っている。（各教科等）	B	教科等主任を中心に計画的な購入計画と廃棄を進めた。コロナ禍において、保健衛生の観点、学びの充実の観点において、学習環境の充実を図った。	
教職員の資質の向上	13	学校は、教職員一人一人の自覚を促し、教育公務員として服務規律を遵守し、保護者・地域の信頼を築くよう努めている。	A	教職員倫理確立委員会をはじめとし、校内研修会等、状況に応じた服務等について学ぶ機会を設けた。また、パソコン上の校務支援システムや職員室掲示を活用して情報を流すなど教職員事故防止について取り組んだ。	○教職員として、日常の取組が適切に行われている。
	14	学校は、教職員の指導力向上に計画的・組織的に取り組んでいる。	B	教員は年度当初に自己評価シートを作成して各々の目標をたて、年間を通して指導力向上を図った。今年度は例年実施していた小中合同研修会や救命救急法研修などの研修が実施できなかった。	
家庭・地域との連携	15	学校は、学校だよりやホームページ等、また参観の機会を設けるなどして、積極的に教育活動を公開し、情報提供している。	A	毎月学校だよりを発行し1か月の様子や予定を伝えた。ホームページには学校での児童の様子が分かるように写真等を掲載し保護者、地域の方々に積極的に教育活動を公開した。 情報メールについては、防犯だけではなく、PTAとも連携して行事等のお知らせなど、配信した。 公開日や参観については、感染症対策の観点から行事によっては公開できないものがあったが、感染症対策を施したうえで保護者の方々にも協力いただき、授業公開を11月に行った。	○学校便りやホームページの工夫改善は、保護者や地域の方々に貴校をさらに深く理解してもらうためにも重要だと思います。更に、加納小の子どもたちの発する「加納小ってこんなに良い学校なんだよ！」アピールが自然と出てくるとうれいすね。そのためには諸先生方が常日頃から加納小の良いところを児童に気づかせ、自信を持たせることが一番大切だと思います。 ○コロナの影響でなかなか学校に行く機会が減ってしまいましたが、ホームページを通して、子供たちの様子を見ることができました。 ○学校便りや、ホームページでの情報公開と情報メールの適切な活用により、保護者や地域住民との密接な情報共有が図られている。
	16	学校は、保護者や関係者等と連携し、通学路の危険箇所の確認等地域の安全、児童への安全対策が適切に行われている。	B	定期的な登下校指導・通学班指導に加え、交通指導員・安全ボランティア・PTA等の方々にご協力いただき、見守りを行った。また、犯推進委員、民生児童委員、学校運営協議会委員との懇談会を開き、児童の安全確保について話し合いをもった。	○各学校関係機関、安全ボランティア、交通指導員等との連携が図られ、児童の安全が確保されている。

その他、ご意見やお気づきの点がありましたら、ご記入ください。

○今回は学校に行く機会が少なくなり、アンケートに答えるのが難しかったです。しかし、下校時の子どもの元気な声在家中に居ても響き、ほっと安堵しておりました。校長先生と中心に所先生方が一体となって加納小の子供たちのために奮闘されていますことに心から感謝申し上げます。

○コロナ禍の中で、いろいろな対応に追われる一年だったと思いますが、先生方教職員の方々の尽力に頭が下がる思いです。民生委員との懇談会もコロナ対策をした中で行うことができました。今後も制約のある生活が続きそうですが、こういう状況だからこそ学校と地域のつながりが大切だと思います。微力ながら情報交換を続けていきたいと思ひます。

○感染症対策がしっかりできていて、安心して子供を通わせることができました。特に手洗いがしっかりと指導されていて、感心しました。時計を使ってしっかりと手洗いさせていたことは素晴らしい！トイレなども密にならるように、待機する線を使うなど良かった。保健室も動線が決められており、対応が早かったのはよかったです。天気の良い日はピアノを外でやっていたり、先生たちの工夫した授業がありました。

○今年度は、一年以上に及び新型コロナウイルスの蔓延により、校長先生をはじめ先生方の学校運営も過去には例のない事態に困惑されたことと思ひます。先生方の弛まない努力に感謝し、めざす学校像『地域に誇れる加納小学校』実現に向け、我々委員も日々学校に興味を持ち、協力を惜しまない努力を続けたいと思ひます。

○学校側におかれましては、PTA活動にご協力していただき、誠に感謝しています。今後とも何卒よろしくお願ひいたします。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---